

呼吸器外科に、肺癌で過去に通院された患者さんまたはご家族の方へ （臨床研究に関する情報公開文書）

北海道がんセンターでは、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた患者さんの過去の記録や保管された検体を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」（令和 3 年 3 月 23 日 文部科学省・厚生労働省・経済産業省制定、令和 4 年 3 月 10 日一部改正、令和 5 年 3 月 27 日一部改正）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。この研究は、北海道がんセンター倫理審査委員会承認され、当院の院長より実施の許可を得ております。

【研究課題名】

肺癌術後間質性肺炎急性増悪と治療開始の時期についての検討

【研究機関名・長の氏名】

北海道がんセンター 院長 平賀 博明

【研究代表者名・所属】

北海道がんセンター 呼吸器外科 医師 中村 泰幸

【研究の目的】

肺癌術後の死因の一つに間質性肺炎の急性増悪という病態があります。間質性肺炎の急性増悪は非常に死亡率が高く、これまでの報告では発症すると約半数が死亡するとの報告があります。早期の介入を要する病態であり、学会でも診断基準の検討と治療開始の時期についての議論がされています。

そこで今回、当院でこれまでに肺癌の手術を行い、間質性肺炎の急性増悪を来した患者さまの情報を調べ、治療介入の時期と転帰を検討することで、間質性肺炎の急性増悪に対する適切な治療介入の時期を明らかにするために、今回の研究が立案されました。

【研究の方法】

○対象となる患者さん

肺癌の患者さんで、2009 年 1 月 1 日から 2025 年 5 月 31 日の間に手術を受けた方のうち、治療の目的で手術を受けた方（検査のみを目的とした手術は含みません。）予定症例数は 2500 人を予定しております。

○利用する検体・カルテ情報

検体：検体試料は用いません

カルテ情報：診断名、年齢、性別、既往歴、家族歴、生活歴、治療歴、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、病理組織診断、他）後治療、予後、再発状況など

本研究で新たに試料を採取したり使用したりする予定はありません。

○具体的な研究内容

肺癌における手術療法後に間質性肺炎の急性増悪を発症した患者さんの治療開始の時期と

2024 年 4 月 1 日（第 1.0 版）

治療成績を検討することで適切な治療開始の時期を考察する事を目的とします。

診療情報は診療録および、当科における肺癌患者診療データベースより収集します。

○研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表する予定です。この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

○個人情報の取り扱いについて

研究に利用する検体や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など患者さん個人を直ちに特定できる情報は削除し、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果が発表される場合にもあなたのプライバシーは厳重に保護され、あなたの氏名や病名などが他に知られることは絶対にありません。

[研究実施期間]

倫理審査委員会による実施許可日～2026年3月31日

*上記の研究に検体・情報を利用することをご了解いただけない場合は 2025 年 12 月 31 日までに以下にご連絡ください。ご連絡がなかった場合、ご了承いただいたものといたします。ご了解されない場合でも不利益を受けることはありません。なお、すでに解析に使用された情報は研究データから情報を削除できない場合がございますので、ご了承ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道がんセンター ____呼吸器外科____

担当医師：__中村 泰幸__

住所：〒003-0804 札幌市白石区菊水 4 条 2 丁目 3 番 54 号

電話：011-811-9111

FAX：011-832-0652